

学年	単元名	児童	場所	指導者
6年	プロフェッショナル 将来への展望 ～自分の生き方に目を向けて～	旭川市立愛東東小学校 6年1組 37名	6年1組教室	松井 芳樹

1 単元で身に付けさせたい力の明確化と学習対象（ひと・もの・こと）の吟味

【研究内容1 旭川らしい学びを創造する学習内容の吟味】

本単元で身に付けさせたい力

学習方法
に関すること

- 情報を収集するための効果的な手段を選択し情報を収集する力
- 問題状況における事実や関係を見付け出し理解する力

自分自身
に関すること

- これまでの生活を見直し、学習の成果を自分の生活に生かす力
- 自己の将来を考える大切さを理解し、憧れとする職業を見付ける力

他者や社会とのか
わりに関する
こと

- 学級の仲間や地域の人たちと協同して課題を解決する力

探究活動への
関心・意欲・態度

- 自分の将来について主体的に考え、自己の生き方について考えようとする力

【単元のテーマ】

キャリア教育

働く人たちと触れ合い、その人たちの生き方で自己の生き方に生かしたいことを探す。

【単元の学習事項】

- 第1次 旭山動物園で働く人の勤労観～旭山動物園閉園の危機を救った人たちの生き方
- 第2次 地域の人たちの勤労観～いろいろな職業や職業を持ちながら社会貢献している人たちの生き方
- 第3次 自己の生き方～自分が見つけた大切にしたい勤労観の実践・ふり返り・再挑戦

ひと

- ・旭山動物園の職員
- ・観光客
- ・地域のボランティア
- ・愛東支援員

もの

- ・旭山動物園
- ・プロジェクトX（DVD）

こと

- ・インタビュー活動
- ・特別活動での実践

【重視する体験活動】

- 旭山動物園の職員へのインタビュー活動
- いろいろな職業の人たちへのインタビュー活動
- 働く人たちが行っている貢献活動体験や見学

言語活動充実のための工夫

- 課題解決に向け、収集した情報を比べながら他者と協同的に話し合う。
- 自分が集めた情報をもとに、勤労観に対する自分の考えを相手に分かりやすく、伝えたい部分をはっきりとさせる工夫をしながら話し合う。

(1) 教材化にあたって

国際化が進む現代、日本人の特徴が海外で評価されるようになってきているように感じる。その1つが勤勉性や集団性（まとまって力を発揮することに長けている）で、ビジネスやスポーツの分野では、献身的に働く様子や集団の中で発揮される日本人の協調性や規律ある行動が非常に評価されている。しかしながら、現代はグローバル化された社会で集団だけでなく、個の力を発揮することも求められる時代になった。日本人のよさである集団と個の力をバランスよく身に付けることが、この年代の子どもたちの将来へのベースになるのではないだろうか。また、勤勉性については日本人がもつ深く素晴らしい勤労観がもとになっていると考える。

そこで今回はキャリア教育というテーマの中で、将来に向かって自己を見つめ、様々な体験活動を通して勤労観にスポットを当てて、自己の生き方を考えるような学習としたい。働く人たちと触れ合う中で、「自己の生き方に生かしたいこと」をつかみ、他領域との関連の中で実践する機会を作っていきたい。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、集団の中での自分の役割を理解して進んで行動することが少ない。例えば、学級の当番活動は集団生活を行う上で欠かせない事柄だが、指示があればそのことだけ行いが自分で仕事を探して取り組むことは難しい。また、最後まで責任をもって仕事を終わらせられない児童も多い。学習面からは、自分が学んだことがどのように生かされるか理解すると定着が図られる。しかし、学んだことを積極的に活用する姿勢には欠けている。資料から推察して自分の考えを構築したり、課題を解決するための手がかりを自力で見付けたりすることに課題がある。

事前アンケートを見ると、児童が「仕事」と聞いて思いうかべるのは職業のイメージが強く、学校生活など集団の中で役割分担をする仕事や、奉仕活動的な仕事のイメージは弱いことが分かった。また、仕事の仕方に対しては、相手意識をもって取り組むことや、「一生懸命」「てきぱき」「信頼されるように」「責任感」「真面目」などを大切にしたいという様子がうかがえた。

(3) 指導について

本単元では、児童が「勤労観」を発見し内面化して、行動化するべく学習を展開していく。

第1次では旭山動物園が閉園の危機を乗り越える時に職員の尽力があったことや、その際の職員の生き方についてスポットを当てていく。その中で子どもたちに働くことへの憧れをもたせて、自分なりの勤労観をもたせたい。また、子ども同士の交流の中で様々な視点から勤労観を捉えさせていきたい。旭山動物園の歴史DVDを視聴したり、職員に実際に話を聞きに行ったりする機会を作る。

第2次では、より深い勤労観を求めて、自分の興味がある職業人へインタビューしていく。1次・2次で学んできた勤労観について思考ツールを用いて整理分析し内面化を図りたい。

第3次では、2次で内面化した勤労観を実践すべく、委員会活動・学級係活動・当番活動などの日常的活動と、学活で行う集会活動など非日常的活動の2本立てで行う。ここでは、道徳の時間、特別活動や国語などとの関連を重視して、総合的な学習の時間では計画・準備・振り返りを繰り返し行う中で子どもたちの実践力に磨きをかけていきたい。

今回、指導で特に重視しているのは、勤労観を児童に内面化するために、自分と働く人々を比較する思考である。そのためには、たくさんの勤労観や、働く人たちのエピソードを集め、自分のモデルを探すことを大切にさせたい。また、他者評価を取り入れることで、本人が大切にしたい勤労観が必要かどうかを検討するきっかけもできると考えている。

3 単元の目標

将来に向かって自己を見つめ、様々な体験活動を通して肯定的な勤労観をもち、自己の生き方を考えることができ、実践しようとする。

4 評価規準

(1) 単元の評価規準

学習方法に関すること	自分自身に関すること	他者や社会との かかわりに関すること	探究活動への 関心・意欲・態度
<ul style="list-style-type: none"> 成長を振り返り、自分を見つめなおす視点をもつことができる。 解決の方法を考え、見通しをもって計画を立てることができる。 収集した情報を整理分析し、目的に応じて分かりやすくまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題設定や情報収集手段、まとめる方法、発表手段などについて、学習方法を自分の意志で決定することができる。 自分自身の良さへの気付きと将来への展望について考えを深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題設定時、情報収集時、整理分析時、まとめ表現の時に異なる意見や他の人の意見を受け入れることができる。 仲間と協同して良さや成長を見付けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の将来について主体的に考え、自己の生き方に夢をもって考えようとしている。 自分の夢や希望を友達と交流しようとしている。

(2) 学習活動における具体的評価規準

次	学習方法に関すること	自分自身に関すること	他者や社会への かかわりに関すること	探究活動への 関心・意欲・態度
第一次	<ul style="list-style-type: none"> VTRや働く人の話を聞くことで追究してみたい課題を設定することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 働く人の話を聞いたり、インタビュー活動したりして働くことに関する自分の考えをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題の解決に向けて自分の考えと友達のことを交流しながら、働く人たちが大切にしている考えを話し合えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 働く人への憧れをもち、職業について自分の考えをもとうとする。
第二次	<ul style="list-style-type: none"> 働く人の様子を調査するために適切な方法で情報収集することができる。 調査した情報を整理し、働く人の考えを自分なりに分析することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の将来に関する夢や希望を働く人々の勤労観と関連させ、今後の生活に生かす方法を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 働く人の話から働くことについて、その良さや楽しさについて理解することができる。 情報交流を通して、働く人たちが大切にしていることを話し合い、共通点を見付けたり、自分に生かしたいことを考えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の興味のある職業について進んで調べたり、インタビューしたりし、まとめ表現する。
第三次	<ul style="list-style-type: none"> 学習を振り返り、自分の将来の夢や希望についてまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が高めたい生き方について日常的に取り組み、自分の夢や希望をもとうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割を理解して、自分たちが考えた取り組みに参加している。 日頃の学習を生かし自分たちが考えた取組を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが考えた取組で大切にしたい生き方を実践しようとする。

次	過程	○主な学習活動	教師の働きかけ～◇ 評価～☆
一 次 ⑫	課題の設定	○DVDを視聴する。① ○DVDを見て感想を出し合い、旭山動物園で働く人たちの姿について話し合う。④ 「動物園を救いたいという熱意があったんだ。」 「どうして閉園の危機から日本一になったんだろう。」 「自分の苦手なことにも進んで取り組んでいた。」 「職員が一体となって働いていた。」 「仲間と支え合いながら働いていたんだ。」 「当時の様子について実際に話を聞いてみたい。」	◇DVDの活用。「プロジェクトX」より。 ◇感想や気付きの交流を通して、仮の共通課題を設定し、課題に対する答えの予想をしながらインタビュー活動のシナリオを考えさせる。 ◇感想や気付きについて話し合うポイントを整理し明確にさせる。 ☆調査方法の見通しをもち、質問内容を考えている。(発言・ノート)
	情報の収集	○仮の共通課題 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">旭山動物園が危機的状況から日本一になったのは、 どうしてだろう。</div> ○共通体験1「旭山動物園発展の秘密について調べる。」② 「大変だと思うときはどんな時でしたか。」 「僕たちは日本一になった理由は職員の人たちの努力があったと思うのですが、 どうですか。」 「やっぱり旭山動物園が発展したのは職員の努力があったんだ。」 「一人一人が工夫を重ねたんだ。」 ○共通体験2「旭山動物園の職員に働くときに大切にしていることをインタビューしよう。」② 「動物を大切にする姿勢がすごい。」 「働くときに大切にしていることはなんですか。」 「とても大変なのに続けているのはどうしてですか。」 ○集めた情報をもとに旭山動物園の発展の理由について話し合う。② 「働く人たちはそれぞれに大切にしていることがあったんだ。」 「私もあの人のようになれたらいいな。」 ○感想を交流して勤労観について話し合う。① 「働く人たちは、自分たちの中で大切にしている勤労観があるんだ。」 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">働く人たちはそれぞれに大切にしている勤労観がある。</div>	◇坂東園長から危機的状況だったころについて話をしてもらおう。 ◇「こと」から「ひと」への視点転換を促す。 ◇職員紹介カードを事前に用意して、アイスブレイクを行い、勤労観に迫るインタビューの仕方を考えさせる。 ◇「勤労観」という言葉を出し、いろいろな勤労観をキーワード化させる。 ☆調査活動から自分なりの考えをもって、意見を書いている(発言・感想文)
二 次	整理・分析 まとめ・表現 課題の設定	○新しい共通課題の設定 ① 「旭山動物園以外の人たちはどんな勤労観をもっているのかな。」 「職業が違って同じ勤労観をもっている人はいるのだろうか。」 「自分がなりたい職業人はどんな勤労観をもっているのだろうか。」 ○新しい共通課題 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">自分の興味のある職業について勤労観を探ろう。</div>	☆気付いたことをもとに、共通課題について考えている。(発言、ノート)

<p style="text-align: center;">二次</p> <p style="text-align: center;">⑬</p>	<p style="text-align: center;">課題の設定</p> <p style="text-align: center;">情報の収集整理・分析</p> <p style="text-align: center;">まとめ・表現</p>	<p>○個の課題を設定する。② 「自分の興味のある職業を持つ人に話を聞いてみたい。」 「お世話になっている愛東支援員の〇〇さんに聞きたい。」 「先日お世話になった子供会の役員の方に話を聞きたい。」</p> <p>○グループごとに、活動計画を立てる。② 「質問内容を考えよう。」 「自分の考えを話してみたい。」 「きっと、こんなことがあったんじゃないかな。」</p> <p>○グループで調査活動をする。②</p> <p>○調べたことを伝える準備をする。②</p> <p>○調査結果報告会をする。③ 「パティシエの〇〇さんの大変なことは～です。大変でもやめないのは小さいころからお菓子作りが好きで夢だったからだそうです。私は〇〇さんから熱意と継続の大切さを学びました。」 「消防士の△△さんは、昔〇〇な失敗をして大変落ち込んだのだそうです。でも、そこでくじけなかったのは人の役に立ちたいという考えが強かったからだそうです。」 「どんな職業にも共通する勤労観があるんだね。」</p> <p>○自分の勤労観を見つめ仲間と交流する。【本時①】 「この項目について自分の様子を振り返ろう。」 「〇〇さんの話は印象に残っているけど、自分はどうかだろう。」 「今の自分の出来はこれぐらいかな。」 「△△さんの生き方にあこがれるな。でも、今の自分はまだまだだ。どこかでチャレンジしてみたいな。」 「A君は責任感をたくさんもちたいようだけど、もう十分できているように見えるよ。」 「みんなからはそう見えるかもしれないけれど、消防士さんの話を聞いてもっと強くもちたいと思ったんだ。」</p>	<p>☆課題の解決に向けて、ふさわしい方法を自分で選んでいる。 (ノート、活動の様子) ◇事前アンケートから興味関心が強かった職業を中心に10種類程度用意する(愛東支援員も含む)。 ☆調査方法の見通しをもち、インタビューの準備をしている。(発言、ノート、活動の様子) ◇1次と同じように紹介カードをあらかじめ用意してアイズプレイクシ、インタビューの計画を立てさせる。 ◇交流の場を設定し、取り組み始めたきっかけやエピソードを聞く。 ☆学級の仲間と交流しながら、それぞれの報告を聞き、感想を書く。 (活動の様子、ノート)</p> <p>◇「勤労観マトリクス」を使って自分の憧れる勤労観と、それに対する自分の状況を比較させる。今後、自分が大切にしたい勤労観を帯グラフに整理させる。 ☆調べたことをもとに、自分の様子について可視化して比較している。また、自分が大切にしたい勤労観をつかむことができる。 (発言、ノート)</p>
	<p style="text-align: center;">課題の設定</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">職業が違っても同じ勤労観や大切にしている生き方をもっている。</p> <p>○感想を交流し、発展した共通課題を設定する。① 「△△さんの生き方にあこがれるな。でも、今の自分はまだまだだ。どこかでチャレンジしてみたいな。」 「学校生活の中でチャレンジできないかな。」 「委員会活動や学級の係活動はどうかかな。」 「集会を企画しよう。」</p> <p>○新しい共通課題</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">チャレンジしよう！自分の勤労観に！</p>	<p>◇12月の学年の集会活動を行う事を提案し企画運営するよう促す。</p>

三 次	まとめ・表現	○学習計画を立てよう ① 「日常的に取り組む活動とそうでないものに取り組んだらいいね。」 「自分たちの取り組み方を時々振り返ろう。」 「委員会活動や係活動とは別に集会をやろう。」	☆自分の大切にしたい勤労観を意識して、自分にできることを考え、実践している。(活動の様子) ◇集会活動当日は学級活動2時間、企画準備等は総合的な学習の時間を使用する。 ◇委員会活動や学級係活動については日常活動に位置づけ、総合的な学習の時間で随時振り返りながら続けていく。
		○集会の企画をする。 ① 「1・2年生を招待してイベントをやろう」 「クリーン集会と題して、学校クリーン作戦をしよう」	◇委員会活動や学級係活動については日常活動に位置づけ、総合的な学習の時間で随時振り返りながら続けていく。
		○集会活動の活動計画を立て準備する。 ④ 「自分の役割を最後まで果たそう。」 「たくさん工夫して相手に喜んでもらおう。」 「自分でうまくいかないこともあるから仲間と協力しよう。」	
		○集会活動を振り返ろう。 ① 「Aさんのこんなところが良かった。」 「Bさんは以前、指示してもやってくれなかったけど、進んで取り組むことが多くなった。」	☆自分の成長ぶりを客観的に振り返り表現している。(報告会の内容、様子) ◇各委員会の先生から子どもたちの様子を第3者評価として提示し、自己有用感を高める。
		○日常活動を振り返ろう。 ① 「委員会活動で、こんな時うまくいった。」 「担当の先生からの話がうれしかった。」	
		○自分たちの取組について振り返り論文にまとめる。 ②	☆学んだことを今後の生活に生かしていこうとしている。(自己評価の内容)
これからも自分の中でしっかりとした生き方をもって物事に取り組もう			
		○学習活動を自己評価する。 ①	☆学習を振り返り、自分の考えの変化をつかむことができている。(チェックシート)

6 研究との関わり

(1) 身に付けさせたい力を明確にしたうえで「ひと・もの・こと」を吟味する・【研究内容1-(1)】

児童の実態を把握し、どんな力を付けさせたいかを明確化する。

本単元を構築する際、最も重要視した事項は、児童の実態である。受動的な態度、指示待ち、責任感の欠如、役割理解の不足など、クリエイティブに学校生活を営んでいる児童が少ないという実態を受け、自己肯定感を高め、能動的に学び、主体性をもって動く集団に高めていかなければならないという課題が浮き彫りになった。そこで、学習指導要領の例示以外の課題として挙げられている「キャリア教育」を行うことにし、身に付けさせたい力の分析を行った。

本単元では、身近で働くさまざまな人の勤労観に触れたり、自ら進んでその人の勤労観を探るような質問をしたりする活動が必要になる。閉園の危機から立ち上がってきた旭山動物園の気概あふれる職員の方々、地域に住むさまざまな職業の方たちと触れ合い、体験を通じた調査をすることができれば、生き方としての良いモデルをつかみ、自己の今までの生き方と比較することができるはずである。

(2) 学びの連続性を意識した活動構成の工夫・・・・・・・・・・【研究内容2-(2)】

学びを生かした課題の更新

本単元では、子どもたちが自分ごととして本気で学習に取り組んでいけるよう、探究のサイクルを重視して単元を構成している。単元を貫くテーマ『自己の生き方』に刻々と迫っていくために、「次」の終末あたりで情報の整理・分析を行い、共通課題が子どもの思考の流れに沿って更新されるようにしている。

課題の更新場面においては、主体的な学びを生かした課題の更新が行われることが大切である。個々に調査したことを交流し、他者評価の方法を取り入れることで、自分では気付かない自分の良さを発見したり、まとめの不十分さや関連する新たな課題に気付いたりし、必要感をもって次の活動に取り組むことができるだろう。

協同的な学び・言語活動

また、総合的な学習の時間においては、問題解決や探究活動の過程を質的に高めていくことを心がけなければならない。そのために、本単元では他者と協同して問題解決を行ったり、言語によりまとめ・表現を行ったりすることを大切にしている。旭山動物園の職員や地域のさまざまな職業の方々との交流の場においては、多様な勤労観にふれることができる。友達との交流の場では、自分の考え方と友達の考え方を比較したり、関連付けたりすることができ、自己の生き方に対する考え方が深まっていくはずである。

(3) 学びを拡げ、深める指導方法の工夫・・・・・・・・・・【研究内容3-(1)】

思考ツールを活用した整理・分析

子どもの整理・分析をより効果的なものにするためには、適切な思考ツールを用いさせることが大切である。本単元の2次では、子どもたちが調査した人物の考え方を「生き方マトリクス」にまとめる。これは、働く人のエピソードや勤労観を端的に整理できるだけでなく、関連する自分自身の認知と比較し、どの勤労観を高めていきたいかを帯グラフ状の数値で表すことができるものである。数値を数値のまま終わらせず、言語化させることで、自己分析がより深いものになり、子どもの思考が3次の新たな課題である「実践」に更新されるだろう。

7 本時の授業

(1) 本時の目標

○働く人の勤労観と自分の勤労観を比べて、仲間と交流しながら自分が大切にしたい勤労観をつかむことができる。 【自分自身に関すること】

(2) 本時の展開【38時間扱い 25/38】

主な学習活動	□教師の働きかけ◆評価 ☆研究とのかかわり
<p>○本時の学習内容を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;"> 自分が大切にしたい勤労観をつかもう！ </div> <p>○自分の様子についてワークシートを用いて振り返る。 「自分は情熱がすこしたりないな。Bさんのがんばりはまねしたい。」 「自分は責任感と、工夫、創造性が足りない。Cさんの生き方にはあこがれるな。」</p> <p>○自分たちが大切にしたい勤労観を決めて帯グラフに表す。 「責任感が65%，工夫が25%，創造性が10%大切にしたいな。」 「仲間はどのように感じているのかな。」</p> <p>○自分たちの勤労観について帯グラフを用いて交流する。 「Aさんは責任感が強いと思うからそんなに大切にしたいのはなぜ。」</p>	<p>□発表内容によっては補足説明をしたり、話を聞いた時の様子を付け加えたりする。</p> <p>◆勤労観マトリクスを使って自分の大切にしたい勤労観をつかみ、どれくらい重要視しているかを帯グラフに表すことができる（発表、ワークシート）。</p> <p>□実物投影機を用いて全体にグラフを可視化する。他者からの指摘に対して、自分なりの考えがあれば話すようにさせる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> まとめ </div> <p style="text-align: center;">楽しく生き生きと働くには、自分の中に大切にしたい勤労観を持つことが大切だ。</p>	
<p>○感想を書いて発表する。 「自分が大切にしたい勤労観がはっきりとしたことで明日からの学校生活が楽しみだし、今とても気分がいいです。」</p>	<p>□自分たちの考えを話すことを認めると同時に子どもたちがどんな時に実践できそうか投げかけて終わる。</p>

(3) 本時の評価規準

◇自分が大切にしたい勤労観について、思考ツールを用いてつかむことができる。	
	(発言、ノート)
十分満足できる	自分が大切にしたい勤労観について、自分の様子とモデルとの相違点など根拠を示して、自分の考えをもっている。
おおむね満足できる	自分が大切にしたい勤労観について、思考ツールを用いてつかむことができる。
努力を要する児童への指導	思考ツールの使い方を指導することにより、自分とモデルについて比べる方法を理解させる。

